

北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん
Mail Magazine VOL. 76 2015/12/25

「北方かわらばん」は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所（旧・北海道立北方建築総合研究所）が発行しているメールマガジンです。
このメールが不要な方は、お手数ですが【管理者からのお知らせ】に掲載しているメールアドレスにご連絡ください。このメールアドレスは配信専用のため返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

=====
今月号のトピックス
=====

第76号の内容はこちらです。

■ひとことエッセイ
下町ロケット

■研修
国内研修を終えて（日本建築総合試験所）

■イベントのお知らせ
地域材活用に関する住宅事業者向けセミナーの開催

■最近の研究所の動き
ジャパンホーム&ビルディングショーに出展しました。
北海道科学大学と北海道立総合研究機構による協働セミナーを開催しました
構造計算適合性判定センターから

■年末・年始閉庁日のお知らせ

=====
ひとことエッセイ「下町ロケット」
=====

先日、毎週楽しみに見ていた「下町ロケット」が最終回を迎えた。下町の小さな町工場で、自分の夢の実現を信じて強いリーダーシップを発揮しながら必死に生きる阿部寛演じる社長とそれについていく社員たち。シチュエーションは全く違うのだが、なんとなくここの研究所（北方建築総合研究所）のあるべき姿をだぶらせながら見ていた。

このドラマでは、データ流出や偽装が起きてしまう。建築でも10年前に耐震偽装事件があったが、その後も数々の偽装事件が起きた。これらが起きた背景は、一つ一つ異なると思うし把握できているわけでもないが、個人の過ちだとしたら本当に組織や社会が防げなかったのか、あるいは、そもそも防ぐ気はあったのか、とさえ感じてしまう。

北総研は、50名弱の所員がそれぞれの研究者としての成長を見ながら、またその多くが家族の成長も垣間見ながら生活していくという、小さな社会が形

成されていて、この点はデメリットもあるが、組織力・チーム力という点で大きなメリットにもなると感じている。

研究ニーズが多様化・複雑化している中、困難に直面しても、個々の優れた能力に加え、組織力・チーム力で乗り切ってほしいと切に願う。

(環境研究部 西澤)

=====
国内研修を終えて
=====

平成27年11月1日から12月4日まで大阪府吹田市にある日本建築総合試験所に国内研修に行ってきました。研修の間は、試験研究センター材料部材料試験室、構造部耐震耐久性調査室にお世話になりました。材料試験室では、分析部門、物性評価部門を持ち、幅広く建築材料の試験・研究を行っています。耐震耐久調査室は、2012年に立ち上げられ、耐久性調査と耐震診断を連携させ特殊な判断が必要とされる案件等を含む柔軟な建物性能評価の取り組みが行なわれています。

そこで、建築材料の耐久性評価のための高度な分析技術の習得と耐久性調査と構造性能評価を連携させた建物性能評価の現状を把握することを目的に研修を行いました。

分析技術の習得においては、実構造物から採取したコンクリートコアや劣化したサイディングなどを持ち込み、劣化原因の推定を行う中で、電子線マイクロアナライザ等の分析を実施し前処理方法などを手順としてとりまとめました。建物性能評価の現状把握においては実際の調査に同行し、近年各所で研究や調査が実施されている透気計測による劣化評価手法を実習しました。さらに火災を受けた構造物の診断手法や使用材料等が現在とは大きく異なり判断が難しい歴史的建築物の診断事例等について研修を行いました。

その他、製品認証や指定建築材料の認定に関わる業務、一般技術者を対象として実施される技術研修事業についても情報収集を行いました。

これらの成果は、現在実施中の重点研究「積雪寒冷地におけるコンクリート劣化の分析評価技術の開発」等において活用し今後の技術相談、依頼試験等にも反映していきたいと考えています。

(建築技術G 谷口)

=====
イベントのお知らせ
=====

■地域材活用に関する住宅事業者向けセミナーの開催

今年度、大樹町からの受託研究「大樹町における地場産木材を用いた公営住宅建設への設計支援」に取り組んでいます。この研究では、町の森林資源と製材の生産状況に応じた地域材活用の検討、公営住宅の省エネルギーや雪対策等の観点から総合的な設計支援を行っています。ただし、公共建築物での地域材利用は、多くの市町村にとっての課題ではないでしょうか。

そこで、十勝管内の市町村担当者が集う「十勝地域住宅協議会」(平成28年1月21日(木) 場所：大樹町生涯学習センター)の中で、地域材を使った公共建築の情報・意見交換を行います。

また、十勝総合振興局と大樹町が開催する住宅事業者向けセミナーでは(開催

概要以下)、地域材を活用した住宅づくりのヒントになる情報提供を行う予定です。詳細が決まり次第、HP等でお知らせいたします。多くの皆様の参加をお待ちしております。

住宅事業者向けセミナー 日時：平成28年1月22日(金)午後
場所：大樹町生涯学習センター
(広尾郡大樹町双葉町6番地)

(環境G 遠藤)

=====
最近の研究所の動き
=====

■ジャパンホーム&ビルディングショー2015に出展しました

平成27年11月18日(水)~20日(金)、東京都「東京ビッグサイト」にて開催された「Japan Home & Building Show 2015」に参加しました。
参照：<http://www.jma.or.jp/jhbs/index.html>

北海道では、道建設部を中心として、道内民間企業・団体・道総研などが「北海道グループ」として一丸となり、本道の住宅建築技術や道産建材の全国への販路拡大や情報発信を行っております。

会場では、出展企業が各ブースで自社の製品や技術のPRを行います。北海道ブースではそれだけでなく、ステージを設けて出展企業のプレゼンを行うとともに、北海道の住宅技術の紹介などの講演も行っています。今年の講演は、北海道科学大学の福島教授と北総研からでしたが、北総研からは、環境研究部の糸毛主査から「地域資源を活用した北海道の家づくり」と題して、これまで共同研究等で取り組んできた道産資源を活用した建材の開発事例を、今回出展されている製品を中心に紹介するとともに、これからの家づくりについて講演しました。

このイベントでは、こうした産学官連携した取り組みにより、北海道の住宅関連産業の技術力の高さをPRできたのではないかと感じており、今後、出展された企業の販路拡大が進むことを期待しています。

(企画課 清水)

■北海道科学大学と北海道立総合研究機構による協働セミナーを開催しました

平成27年12月9日に北海道科学大学において、協働セミナー「北国の豊かな暮らしをつくる ~住まいと雪とエネルギーを考えてみませんか~」を開催しました。当日は同大学と北総研の講師5名が、北海道の住まいのこれまでの歩み、屋根の雪下ろしの事故の実態や安全な付き合い方、冬の暖かさ・昼間の光環境の快適性と健康、暖房や換気の設備のこれから等に関する講演を行いました。セミナーには一般の方々も大勢お越し頂き、活発な質疑等がなされました。会場からのご意見としても頂きましたが、私たちの研究成果は事業者ばかりでなく居住者等の方々に対しても、分かりやすくもお伝えしていく事が大切

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所